

埼玉県立文書館 と大規模改修



「もんじろう」は、文書蔵(もんじょぐら)を守る猫をイメージした、当館のマスコット・キャラクターです。

「もんじろうかわら版」は、文書館の事業等の様子をご紹介するため、ふだんはホームページに掲載しています。本特別号は、大規模改修工事にもなう文書館の状況を広くお伝えするためにペーパー版で発行しました。

ホームページ版でも工事の様子などを随時お知らせしておりますので、あわせてご覧ください。



開館50周年を目前にして

館長 杉山正司

埼玉県立文書館は、わが国の文書館・公文書館のなかでも、最も早い時期にあたる1969(昭和44)年に設立され、来年で50周年を迎えます。また、現在の館舎は1983(昭和58)年、全国で3番目の情報公開条例の施行にあわせて開館しました。今年で35年になります。

この間、多くの方々から貴重な古文書類の御寄贈・御寄託をいただき、また、県庁からは重要な公文書が毎年引き継がれています。1992(平成4)年には館内に地図センターを開設、さらに1995(平成7)年には県史編さん室の史料編さん事業を引き継ぐなど、事業の充実と発展を図ってまいりました。その結果、収蔵資料は100万点をこえるまでに至り、県民の皆様にとっての「記録資料による埼玉県の記憶装置」たるべく、引き続き努めているところです。

これらの貴重な資料は、現代の皆様にご利用していただくのはもちろんですが、次の世代、さらに未来の世代への文化遺産として引き継いでいくのも文書館の使命です。デリケートな紙の資料の保存には、良好な温湿度環境が第一です。しかしながら、そのための生命線である空調設備が限界を迎え、全館に張り巡らされた設備をすべて取り換えざるを得なくなりました。

このため、文書館では昨年6月から館舎を閉じ、すべての資料を館外の保管庫に搬出したうえでの大規模改修工事に取り組んでいます。再開館は2019(平成31)年4月を予定しており、この間は、仮事務所での暫定的な開館及び臨時休館となります。長期にわたり利用者の皆様にご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

リニューアル・オープン of 2019年は開館50周年の年でもあります。次の50年、100年への貴重な文化遺産の継承のため、御理解と御協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

目次

開館50周年を目前にして	1
文書館の施設と改修工事	2
収蔵文書の概要と閲覧	3
文書館の事業	4



安保文書 建武3年 足利直義下文
安保(あへ)文書は鎌倉～戦国期の37点から成る、当館を代表する中世文書です(埼玉県指定文化財)。

埼玉県立文書館

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂4-3-18

TEL 048-865-0112

FAX 048-839-0539

Email p6501121@pref.saitama.lg.jp

URL <http://www.monjo.spec.ed.jp/>

休館中は「館長は広報マン」を心がけ、積極的に館外に飛び出しました。

【写真】NHK総合テレビ「プラタモリ」で
中山道旧大宮宿(さいたま市)をご案内



彩の国
埼玉県



文書館の 施設と 改修工事



写真1 文書館正面外観
右隣の白い建物が暫定開館中の仮事務所が置かれているK・Sビル



写真2 地下2階 機械室



写真3 保存庫8の固定書架



写真4 保存庫7の集密書架

1 文書館の施設設備 ～ 過半は保存のスペース

文書館は、レンガ・タイルに彩られた鉄筋コンクリート造りの建物で、総床面積は6,507㎡に及びます。このうち、閲覧室や展示室など、来館者の皆様に利用いただいているスペースは1割余りです。ふだんご覧いただいている文書館は、ほんのわずかの表向きのスペースなのです。文書館で最も大きなスペースを取っているのは保存庫です。その空調や防火を支える機械室スペースとあわせると、実に建物の半分以上を占めています。

写真1は国道17号線をはさんで県庁に面する文書館のファサードですが、中央吹抜けのエントランスをはさみ、向かって右側は1階から4階まで、すべて保存庫仕様です。このほか、地下はすべて保存庫と機械室で、このほかに貴重文書保存庫、フィルムテープ保存庫などがあります。文書を配架している書架の総延長は約26kmに及び、JR東日本の浦和駅－東京駅間よりも長くなるほどなのです。

2 大規模改修工事の概要

(1) 老朽設備の更新と全資料の館外搬出

大切に用いてきた建物と設備ですが、竣工から30年を過ぎる頃から、老朽化による不具合が生じるようになりました。とくに、保存庫環境を良好に保つための生命線である空調設備の老朽化が顕著となったため、今回の大規模改修工事に踏み切ることになりました。

写真2は、地下1～2階吹抜けの機械室の一部です。このほか、空調機械室は各階に計9室あり、これらの部屋に居並ぶ機械設備はすべて新しいものに更新されます。また、各保存庫や閲覧室、展示室などの天井に張り巡らされた空調ダクト(配管)も大半を取り換えることとなります。このことは、すべての電気が消え、空調が止まり、保存庫が埃と廃材にまみれることを意味します。もちろん、貴重な資料を置いたまま工事はできません。

このため、工事に先立ち、すべての資料を館外に移出する一大作業を要することになります。工事自体は昨年11月の開始でしたが、それに先立ち6月から休館させていただき、10月までの5か月間をかけて資料の総点検を行ったうえで、民間の文書専用保管庫への搬出を行いました。

(2) 収蔵能力の向上

もう一つの課題が、保存スペースのひっ迫でした。とくに行政文書は毎年休むことなく県庁から移管されてきます。このままでいくと、あと2、3年で書架が一杯になってしまうところまで来てしまいました。このため、今回の工事では、①地図閲覧室の保存庫への転用、②集密書架の導入、の2つの対策でスペースの増強を図ります。

地図閲覧室はもともと将来の保存庫として設計しておいた部屋です。閲覧室は一般仕様の部屋に移し、いよいよ本来の用途として使うこととなります。また、これまで固定書架(写真3)であった保存庫を写真4のような可動式の集密書架にすることで、同じ保存庫でありながら棚の数を増やし、収蔵能力をアップします。

これらの取組みにより、約10年分の収蔵能力を生み出すことができます。

収蔵文書の概要と閲覧



古文書



行政文書



航空写真

平成29～30(2017～2018)年度の資料閲覧について

(1) 2018年10月まで(仮事務所での暫定開館)

○ 閲覧方法

一部の資料を除き、外部の保管庫に預けているため、事前に閲覧日時、閲覧資料を予約いただき、資料を取り寄せて閲覧いただくことになります。

○ 閲覧できる資料

- ・ 行政文書(重要文化財原本を除く)
- ・ 古文書複写本(県史編さん資料、他機関所蔵資料を除く)
- ・ 埼玉県撮影航空写真
- ・ 戦後報道写真

○ 閲覧場所

文書館北隣のK・Sビル 2階 文書館閲覧室
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-3-15

(2) 2018年11月から2019年3月まで(臨時休館)

館内設備の復旧、保存庫環境の整備、書架の新設、外部保管庫からの資料の搬入配架等のため、資料閲覧は休止となります。なお、重要文化財、県指定文化財等の原本は、2020年1月に閲覧を再開する予定です。

古文書

古文書には、武家文書、寺社文書、名主文書、近代以降の団体などに関する文書や典籍類などがあります。これらの古文書は、県や地域の歴史を物語る貴重な資料であり、長く保存してこられた所蔵者の方から寄贈や寄託をいただいています。

行政文書(公文書)

県の行政文書(公文書)は、その時々県の姿や行政の動きを伝える貴重な文化遺産となります。明治初年以降の20万点を超える文書を収蔵し、現在も毎年継続的に受け入れています。その一部は、国の重要文化財に指定されています。

地図/航空写真

県及び県内市町村が作成した地図や、1966(昭和41)年～1995(平成7)年に県が撮影した航空写真、県域にかかる国土院発行の地図類など、約7万9千点を収蔵しています。これらの資料から、過去の景観や土地利用の変化を読み取ることができます。

行政刊行物/図書

県が作成した行政刊行物は、県政に関する資料として、行政文書とともに重要です。各種報告書や統計書など約5万4千冊を収蔵しています。また、県内及び県外の主要な自治体史、辞書・事典、雑誌などの参考文献も収蔵しています。

県史編さん資料

『新編埼玉県史』編さん事業(1977(昭和52)～1991(平成3)年)のため、県内外の関係機関・個人から写真撮影等によって収集した複製資料です。

文書館の 事業



地図保存庫での資料搬出の様子



搬出資料(写真は河川台帳)の
一時留置場となった展示室



暫定開館中の閲覧室営の様子
(文書館北隣K・Sビル2階)



県立歴史と民俗の博物館での収蔵文書展
「関東管領上杉氏と埼玉の戦国武将」



1 収集・整理・保存・閲覧

寄贈・寄託いただいた古文書や県庁から引き継がれた行政文書は、1点ごとに資料番号を付け、目録データを整備します。また、中性紙の封筒や保存箱などに入れ、温湿度を一定に保った保存庫に配架します。検索システムや冊子目録が整備できたものから、閲覧室で利用に供します。暫定開館中は、民間の文書専用保管庫に資料を預けているため、事前予約を受けた資料を仮事務所に送り寄せて閲覧に供しています。

2 展示、講座・講習会

古文書や地図などの資料に親しんでいただけるよう、さまざまなテーマを設けての展示や、古文書講座、地図教室、子供体験教室などの講座・講習会を開催しています。大規模改修工事中も、県立歴史と民俗の博物館など館外の会場で開催しています。日程等は館のホームページに掲載します。

3 史料編さん

各時代にわたる重要な史料を「埼玉県史料叢書」として編集し、年1冊刊行しています。平成29年度は『埼玉県布達集四』を刊行しました。

平成29年度の事業記録

1 4月～5月 最後の通常開館

大規模改修工事に入る前の通常開館最後の2か月間でした。閉館が近づくにつれ、多くの利用者の方で閲覧室が満室になるような日もあり、ありがたくも申し訳ない日々でした。

2 6月～10月 臨時休館 資料の総点検と搬出

各担当ごとにすべての資料の点検にあたり、7月下旬には順次搬出が始まりました。保存庫での配架状態の記録をとり、資料の形態に応じて梱包や養生を施し、6台のトラックが2往復する毎日が10月まで続きました。さらに整理室、撮影室などの、ありとあらゆる物品が運び出され、最後に隣接するK・Sビルに事務室、閲覧室を移転させ、文書館はもぬけの殻となりました。

3 11月～ 暫定開館 行政文書等の事前予約閲覧

事前予約の受付を10月2日に始め、月末の1週間をかけて閲覧室を整備しました。30日には外部保管庫から最初の閲覧予約資料の配送を受け、11月1日、限定的とはいえ、ようやく開館を迎えることができました。

平成30年度の事業予定

1 4月～10月 暫定開館

引き続きK・Sビルで事前予約による資料の閲覧提供を行います。

2 11月～平成31年3月 臨時休館

事務室等は文書館に戻りますが、順次の資料再搬入・再配架のため休館します。この間も館外での展示、講座は開催します。

3 平成31年4月 リニューアル・オープン

利用案内(～平成30年10月)

【開館時間】 9時～17時 (複写申込は16時30分まで)

【休館日】 毎週月曜日、国民の祝日・休日

館内整理日(5月31日、7月31日、8月31日)

【交通案内】 ◆ JR浦和駅西口下車 徒歩15分または国際興業バスで「県庁前」下車3分

◆ JR中浦和駅下車 徒歩18分または国際興業バスで「県庁前」下車3分